

# 新時代

No.  
6月1日

五十五年正月  
壬午朔旦

## 主語の動詞語類

4、11日教組全国ツートン会にて、警集推力は6月10日夜  
の最高責任者、植村長の地方公務員法違反逮捕を取引、本  
曰、早朝7時前に不当にも逮捕を差行した。

上理止  
判彈風雨  
名聞

墨者

# 新文管志圖

道之用

# 田舎者之書

自古一朝天子九重人

# 抗議彈止不当判細則

日本在華の工作に政府から莫大の貢献があつた所  
で、もうあたる日本勞働運動に対する判断は堅として、教師、聖職  
ハイテオロギーを教へども手段を講じつつ行なれてきている。そ  
れは多方面に行なうる世論工作、裏切り集の役を果しつゝも、ど  
れぞにとどまらず、本筋の教育の国案知ら章本約す田端、大雪  
教育、西元へ私物化へと走り進んでいる。

断固として反撃する。絶滅する。

田中首相は「多方面の臨時国会は、院の構成と署名運動をワラフカラ展開する。新立官法國会上程阻止の用いを構築

指置法へとさへも制限切れどより法律へ逐じて可する。ヒケヘ既に国事  
と行つてしと、はつたりと新た音法制定の意図を表明しこいる。  
曰教祖の渾庄が学びる者算術者に対する影響にとどらう。ナ  
等級体に甘利る内勢。ナ首そへもの入へ巨工把占遺キハ介ヘてある  
ことを理解し。我クは、曰教祖行勵者、といひけ申スにおいては、  
市太行穀祖との連帯を深めて聞ゆねばならぬ。

工事部自ら云々の呼び方で、かくに至る。市長が職組ごとに、全ての工事  
ラフ化、署名運動を展開し、新太曾路折冲を担当する河野は、本署運動への  
基盤を打固め、ワラフ向へ里帶を強化しつつ間取りを一〇〇。